

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	道水路管理課担当課長 田中 新一	
都整-10	実施事業	河川管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道水路管理課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	水辺環境の整備・創出・管理

1 事業の目的

対象	河川維持管理協力団体等
意図	河川管理事業の円滑な推進を図るため。
効果	協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

河川の良好な環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	1,489	1,474	当初予算(千円)	1,488
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	323
	一般財源	1,489	1,474	一般財源	1,165
	人員配置数	0.6	0.6	人員配置数	0.6
			会計年度任用職員配置数	0.0	
	人件費(千円)	4,675	4,796	人件費(千円)	4,763
事業経費運営	総事業費(千円)	6,164	6,270	総事業費(千円)	6,251
	市民1人当りの経費(円)	35	36	市民1人当りの経費(円)	35
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉自主探鳥会グループ かまくら環境会議 鎌倉ホテル保存会 関谷川をきれいにする会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する	河川維持管理協力団体の活動を継続する。
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	
事業へ統合		
謝礼や消耗品購入の費用は生じるが、市民と協働しながら河川の良好な環境を維持するためには、河川維持管理協力団体の活動は欠かせないものである。市として団体への活動を継続して支援していく。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	河川維持管理協力団体との連携強化や各団体からの報告事項の水平展開などを行うための人材確保。							
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	なし							<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	河川維持管理協力団体との連携強化や各団体からの報告事項の水平展開などを行うための人材確保。 河川維持管理協力団体の継続的な活動を支援するための新たな方法の検討。							

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市民協働の実施状況					単位	団体	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)	
市民協働により良好な河川環境を維持するため	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0		4.0	4.0	
	実績値	4.0	4.0	4.0	4.0		4.0	4.0	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--